

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/5/31	2020/6/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	21,877.89	22,863.73	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	25,383.11	27,110.98	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	107.83	109.59	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～世界的な経済活動の再開や財政・金融政策への期待感が継続したことから、上昇

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+985.84円(+4.51%)、TOPIXが+48.81ポイント(+3.12%)となり、世界的な経済活動の再開や財政・金融政策への期待感が継続したことから、上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、空運業、鉄鋼、証券・商品先物取引業、輸送用機器などの31業種が上昇した一方、医薬品、電気・ガス業の2業種が下落しました。週初の1日は、①東京都が「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」におけるステップ2に移行し、幅広い業種で休業要請が解除されたこと、②香港版「国家安全法」を巡り先週末にトランプ米大統領が公表した対応策が予想よりも穏健であったことなどから、上昇して始まりました。その後も、③米ISM製造業景況指数が改善したこと、④米政府が追加の経済支援策を検討中とされたことやドイツが付加価値税減税など1,300億ユーロの景気対策の導入を決定したこと等を背景に、上昇基調が続きました。週末5日には、⑤ECB(欧州中央銀行)が市場予想を上回る追加金融緩和策を決定したことなどから、続騰して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
6月8日	Mon	日本	国際収支:経常収支	4月 +1兆9,710億円
			貿易収支(国際収支ベース)	4月 +1,031億円
			景気ウォッチャー調査現状	5月 7.9
			景気ウォッチャー調査先行き	5月 16.6
6月9日	Tue	ドイツ	鉱工業生産(前月比)	4月 ▲9.2%
		米国	FOMC(米連邦公開市場委員会)10日まで	
6月10日	Wed	日本	機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比)	4月 ▲0.4%
		中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	5月 +3.3%
		国際	OECD(経済協力開発機構)経済見通し	
6月11日	Thu	米国	CPI(除食品・エネルギー/前年比)	5月 +1.4%
		米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	5月 +0.6%
6月12日	Fri	欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	4月 ▲11.3%
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	6月 72.3

決算発表予定 他 海外 決算発表 : 6/11 アトビ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～新型コロナウイルスの感染拡大第2波が警戒される中、米中関係や米国のデモへの懸念から、上値の重い展開～

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスの感染拡大第2波が警戒される中、米中関係や米国のデモへの懸念から、徐々に上値の重い展開になると予想しています。週前半は、①米雇用統計が事前予想に反して改善し、主要国経済の早期回復期待が高まっていること、②週末の株価指数先物・オプションのSQ(特別清算指数)算出を控え、経済活動が停滞した局面で売り持ち高を膨らました投資家の買戻しが見込まれること、③9日から開催されるFOMCでは緩和的な金融政策の維持が見込まれることなどが、株価の押し上げ要因に働くと考えています。一方で、①新型コロナウイルスの感染拡大第2波への懸念が払拭されないこと、②米中関係の悪化や米国内のデモの深刻化など政治的不透明感が懸念されること、③騰落しレシオが高水準になるなどテクニカル面で相場の過熱感が意識されていることなどから、買い一巡後は上値の重い展開になると見込んでいます。

その他の注目材料として、日本では、8日の景気ウォッチャー調査、10日の機械受注、米国では10日のCPI、12日のミシガン大学消費者信頼感指数、欧州では12日のユーロ圏鉱工業生産、中国では10日のCPIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.  
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会